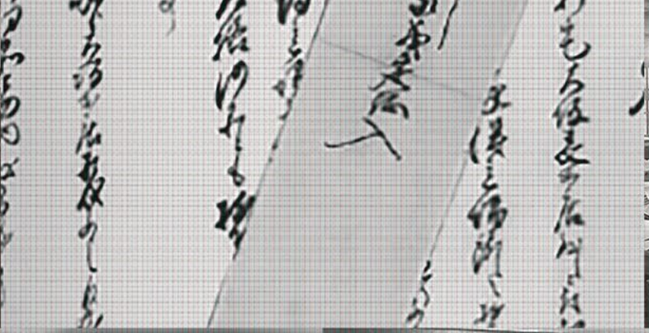
創業から160年余り。丸紅の礎を築く。



古川鉄治郎ゆかりの豊郷小学校旧校舎（滋賀県）に施された真ちゅうの装飾

1949年 大阪本社ビル

1858年、初代伊藤忠兵衛による麻布の持ち下りから始まった丸紅グループのビジネスは、常に社会や顧客の課題に向き合い、それを解決することにより、社会・顧客とともに発展してきました。

様々な社会・経済環境の変化や困難を乗り越えた経験は、1949年に社是と定めた「正・新・和」に凝縮され、現在の事業活動の礎となっています。

創業者
伊藤 忠兵衛
1842～1903

丸紅商店初代社長
九代 伊藤 長兵衛
1868～1941

丸紅商店専務
古川 鉄治郎
1878～1940

創 業
1858年
（安政5年）

1872年
初代伊藤忠兵衛が
大阪・本町に呉服太物商「紅忠」を開店
紅忠

1918年
伊藤忠商店

伊藤長兵衛商店
1921年
丸紅商店

伊藤忠商事

岸本商店
1941年
三興株式会社

呉羽紡績
1944年
大建産業株式会社

大同貿易

過度経済力集中排除法により、
4社に分割
伊藤忠商事
尼崎製釘所
呉羽紡績

1949年
丸紅株式会社設立
大阪本社ビル

高島屋飯田
（繊維・鉄鋼商社）
1955年
丸紅飯田株式会社

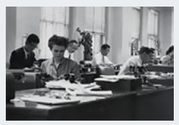
東通
（鉄鋼専門商社）
1966年

1972年
丸紅株式会社
丸紅株式会社へ改称
東京本社、竹橋に移転

1973年
機械・金属などの
取り扱いが増加
南洋物産（非鉄専門商社）

ビジネスの発展

1950 東京証券取引所に上場
1951 ニューヨークに最初の現地法人設立
1958 創業100年
1961 非繊維分野の売上比率が50%を超える
1963 フィリピン マニラ電力より火力発電設備受注
1966 フィリピン ターンキー・ベースによる第1号砂糖プラント受注



ニューヨーク現地法人

マニラ電力1号機（フィリピン）

1978 米国 穀物の集荷・保管・輸出のコロンビア・グレイン社設立
1981 売上高10兆円、自己資本額1,000億円突破
1987 米国 農薬販売会社のヘレナ社買収

コロンビア・グレイン社（米国）

ヘレナ社（米国）

1996 カタールLNGプロジェクト第一船入港
チリ ロスペランプレス銅鉱山の権益取得

LNGプロジェクト（カタール）

ロスペランプレス銅鉱山（チリ）

2007 純利益1,000億円突破
2008 チリ エスペランサ銅鉱山の権益取得
5期連続最高益更新

2012 豪州 ロイヒル鉄鉱山開発プロジェクトへの出資参画
2013 米国 ガビロン社買収
株主資本1兆円突破
2018 創業160年
2019 史上最高益更新（2019年3月期 純利益2,309億円）
中期経営戦略GC2021スタート

ロイヒル鉄鉱山開発
プロジェクト（豪州）

ガビロン社（米国）

丸紅グループの価値観

今日まで受け継がれる、不変の価値観。

社是「正・新・和」は、1949年の丸紅株式会社設立に当たり、
初代社長・市川忍が行った訓示に由来しています。
丸紅グループ及びグループ社員が依って立つ原点であるとともに、
変化の激しい時代においても常に道標となる価値観です。

丸紅株式会社初代社長
市川 忍
1897～1973

社是・経営理念

社是「正・新・和」

「正」 公正にして明朗なること
「新」 進取積極的にして創意工夫を図ること
「和」 互いに人格を尊重し親和協力すること

経営理念

丸紅は、社是「正・新・和」の精神に則り、公正明朗な企業活動を通じ、
経済・社会の発展、地球環境の保全に貢献する、誇りある企業グループを目指します。

丸紅グループの在り姿
『Global crossvalue platform』

丸紅グループの在り姿『Global crossvalue platform』は、丸紅グループの存在意義を明確化し、グループ一丸となって永続的に企業価値を高めていくという意思でありコミットメントです。
丸紅グループそのものが様々な事業が統合された巨大な一つの「platform」として、世界的規模で様々な価値を掛け合わせて新たなビジネスを創出し、社会・顧客にソリューションを作り出すことにより、永続的に企業価値を高めることを目指しています。

Global crossvalue platform
Marubeni

社会・顧客の課題と向き合いタテの進化とヨコの拡張により
成長エンジンを追求し新たなビジネスモデルを創出する